

都市再生整備計画 事後評価シート
宇都宮大学東南部地区

平成25年3月

栃木県宇都宮市

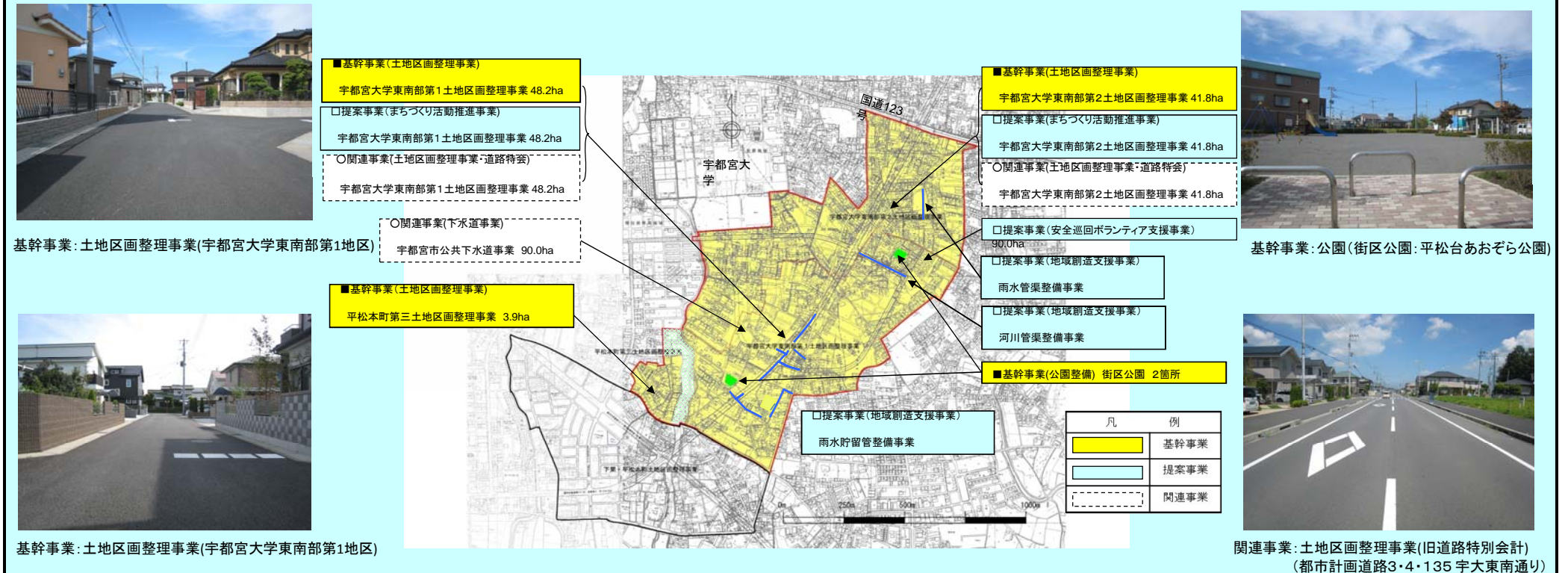
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	宇都宮市		地区名	宇都宮大学東南部地区			面積	96.3ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	5,187.0百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(街区公園), 土地区画整理事業(宇都宮大学東南部第1地区, 宇都宮大学東南部第2地区)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし			事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	まちづくり活動推進支援(宇都宮大学東南部第1地区, 宇都宮大学東南部第2地区), 安全巡回ボランティア活動支援			都市再生整備計画で実施しなかったため, 事業を削除							
	新たに追加した事業	基幹事業	土地区画整理事業(平松本町第三地区)			地元合意形成など, 事業熟度の高まりにより事業を追加			まちづくりの目標に, 水害に関する標記を追加				
		提案事業	雨水貯留管整備事業, 雨水管渠整備事業, 河川管渠整備事業			地区の水害に対する安全性を高めるために事業を追加			まちづくりの目標に, 水害に関する標記を追加				
	交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更	なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	狭隘道路率	%	72.44	H19	42.11	H24	モニタリング	評価値	○	あり ● なし	計画的に建物移転を実施し, 区画道路を整備してきたことで, 目標値を達成した。	平成25年4月末
	指標2	地区内人口の増加	人	5,135	H19	6,000	H24	-	6,137	○	あり ● なし	道路や公園等の公共施設の整備により, 魅力的な居住地が形成されたことで, 地区内の人口が増加した。	-
	指標3	公園整備率	%	9.78	H19	61.78	H24	-	35.62	△	あり ● なし	目標値の達成には至らなかったものの, 街区公園の整備に伴い, 公園整備率は向上した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	公園までの到達時間	分	18	H19	/	/	-	12	/	/	地区内及び地区周辺における公園や道路の整備が行われたため, 一時避難としての公園までの到達時間が短縮された。	平成25年4月末
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	土地区画整理事業の進捗により, 住居等の建替が進み, 地区内の老朽建築物が減少するなど, 防災性が向上するとともに, 良好な街並みが形成されつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し, 実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが, 実施した 都市再生整備計画に記載したが, 実施できなかった				-						
	住民参加プロセス	地元自治会と共にワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し, 実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが, 実施した 都市再生整備計画に記載したが, 実施できなかった				● 公園整備時のワークショップをきっかけに, 地域住民に関心をもってもらい, 公園愛護会活動への積極的な参加へつなげる。						
持続的なまちづくり体制の構築	公園愛護会への参加に向けた働きかけを行う。	都市再生整備計画に記載し, 実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが, 実施した 都市再生整備計画に記載したが, 実施できなかった				● 公園愛護会の活動を一層活性化させるため, 適宜支援や助言等を行う。							

様式2-2 地区の概要

宇都宮大学東南部地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:高齢者、子育て世代が安全に、かつ安心して居住できるまちづくり 目標1:道路網の整備により、児童生徒の通学路における交通危険箇所を減らし、あわせて公園を整備し、子育て世代が安心して居住できる環境を確保する。 目標2:狭隘道路の解消によって、火災が起きた際の類焼を予防し、かつ消防車・救急車等の緊急車両の通行を容易にする。また一時避難策として公園を整備するとともに、雨水貯留管及び河川管渠を整備し、地区の災害に対する安全性を高める。 目標3:整備計画の周知、公園整備のワークショップの開催等を通じて、地区住民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの意識の向上を図る。	狭隘道路率	単位: %	72.44	H19	42.11	H24	41.33	H24
	地区内人口の増加	単位: 人	5,135	H19	6,000	H24	6,137	H24
	公園整備率	単位: %	9.78	H19	61.78	H24	35.62	H24



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業により、狭隘道路や行き止まり道路が解消されるとともに、老朽住宅の建て替えが進んだことにより、防災面や交通安全面での一定の改善が図られた。しかし、宇都宮大学東南部第2地区では、改善の進んでいない地域も残されている。 ・良好な宅地供給や公園整備が進んだことにより、地区住民のまちづくりに対する関心が高まり、不法投棄が減少するとともに、地区住民の憩いの場が形成された。今後、未整備の公園の早期整備や、整備後の公園の適正な維持管理が求められている。 ・公共下水道の整備や雨水貯留管、雨水管渠、河川管渠の整備により、地区内の生活環境は改善されつつある。しかし、未だ地区内及び周辺地域では、大雨時において浸水被害や道路冠水が発生している箇所も残っている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業を継続して推進することにより、地区内の利便性や防災性を高め、安心、安全な環境を形成する。 ・引き続き公園の整備を進めるとともに、住民と協働で適正な公園の維持管理に努めることなどにより、魅力的で質の高い生活環境の形成を進め、人口の定着を図る。 ・河川管渠等の整備を進めることにより、地区内外の浸水対策を推進する。